

「備後ものづくり支援」成果発表会 内容抄録

(1) 日本の将来を方向づける「産業構造ビジョン2010」の概要

玉崎 猛

1) 経済産業省編「産業構造ビジョン2010」の抜粋

日本の産業を巡る現状と課題

国としての今後の5つの戦略分野

これから何で稼ぎ、何で雇用するか

2) これを受けての地域経済活性化の提案

次世代自動車産業への対応

再生可能エネルギー関連事業への対応

(2) 循環型社会に欲しいものづくり

松村勝己

勉強のテーマは、備後の固有技術を未来につなげる、新しいものづくりの市場調査。

固有技術を持つが市場調査、商品開発余力が無い中小・零細企業を支援するため、

1) 国土の森林保全、里地・里山の暮らしの自立に必要な機械化市場を調査

2) 森林組合における間伐を主とする施業の技術は急速に進歩しており、里地・里山の天然林保全に拡張する将来の事業に、機械化ニーズを発見。

3) 一方、環境保全の要求に見合う林業資源需要を開発する必要があり、林業資源の川上から川下にいたる商品開発と流通市場改革にビジネスチャンスを発見。

4) この新しい市場は、森林資源を有する地域内木質資源循環システムとして、全国に広がりつつあり、近隣の「バイオマスタウン真庭市」を訪問し、その成功事例を学んだ。

21世紀に始まる新しい循環型社会のニーズを整理し、そこに欲しいものづくりに挑戦する「新規事業プロジェクト」を提案し、NPO法人BSBの支援体制を紹介。

(3) (株)シーケイエス・チューキの生産性向上策と改善事例

(株)シーケイエス・チューキ 専務取締役 河田将人氏

(株)シーケイエス・チューキは、創業76年の歴史を持つ木材加工機およびリサイクル関連機器のメーカーです。

近年、コスト、納期、品質などの顧客要望が厳しくなり、長年の慣れてきた生産方法には課題も多く、このたびNPO法人ビジネスサポート・Bingoの「現場の5S」及び「業務フローのVE」の考え方を取り入れ、改善し、多くの効果を上げております。

今回は上記2項目の改善活動を主体に改善への取り組みやその効果について報告します。